

## 今週の株式相場見通し

- \* 日経平均 22,000~23,000円 TOPIX 1,660~1,730
- \* 期待材料 中国の内需拡大策 堅調な企業業績 企業統治改革 国内安定政権
- \* 不安材料 米中関係の冷戦化懸念 米国金利情勢 中東情勢

米国株は10月10日、長期金利の上昇や米中貿易戦争激化への懸念などを背景に急落した。米国株の下落を受けた翌11日は、日本を含む多くのアジア市場でも大幅下落となった。ただ、10日の米国市場では、債券市場は買いで応えており、為替市場においてもパニック的な展開とはなっておらず、今回の株価下落は相場の本格的な転換ではなく、スピード調整と想定している。11日の終値で評価すると、日経平均のPER水準は13.1倍であり、近年のPER推移と比較しても割安感が意識される水準まで株価は下落している。米国株がスピード調整を経て、再度、安定感を取り戻せば日本株もPERの水準訂正を背景とした上昇への転換が期待される。また、企業業績見通しについては、市場予想が会社予想を上回る状況となっている。11日終値時点において、日経予想(会社予想とほぼ同じ)ベースの日経平均の予想EPSは1,730円程度だが、日経平均採用銘柄のQUICKコンセンサスを基に日経平均の予想EPSを計算すると1,830円程度となっており、日経予想に対して約100円高い水準となっている。翌週から3月期決算企業の2Q累計決算の発表が本格化するが、期待通りに業績の上方修正優位の展開となれば、PERの水準訂正に加えてEPS向上を背景とした株価の一段高も期待される。当面のスケジュールを確認すると、近日中に米国が発表する為替報告書における中国の扱い、翌週に開催される可能性が高い日中首脳会談、11月1日からの中国の輸入関税引き下げや5日に開催される中国の第一回国際輸入博覧会を通じての内需拡大策への取り組み、5日の対イラン経済制裁復活第二弾、6日の米国中間選挙が注目される。(10月11日現在、多功 毅)

## 今週の予定

	国内	海外
10/15 (月)	レジャー&サービス産業展2018(~16日) マネーフォワード(3994)3Q決算 RPAHD(6572)2Q決算	[米]9月小売売上高(21:30) [中]預金準備率引き下げ [伊]19年予算案のEUへの提出期限
16 (火)	CEATEC JAPAN2018(~19日) サッカー日本代表国際親善試合 日本×ウルグアイ	安倍首相欧州3カ国訪問(~20日) [中]9月消費者物価指数(10:30) [独]10月ZEW調査(18:00)
17 (水)	ワールド・ロボット・サミット(~21日) IoT Japan 2018(~19日) 人工知能 ビジネス AI 2018(~19日) Fin Tech&ブロックチェーン2018(~19日)	[パプアニューギニア]APEC財務大臣会合 [中]CHINA PHARM 2018(~19日) [米]9月住宅着工件数(21:30) [欧]9月の新車販売
18 (木)	9月貿易収支(8:50) 日銀 地域経済報告(さくらリポート)	[ベルギー]ASEM首脳会合 [欧]欧州連合(EU)首脳会議(~19日)
19 (金)	黒田日銀総裁 全国信用組合大会における挨拶 9月全国CPI(8:30) KOA(6999)2Q決算	[中]7-9月期GDP(11:00) [中]9月鉱工業生産(11:00) [中]9月小売売上高(11:00) [米]9月中古住宅販売件数(23:00)
20(土)	雨宮日銀副総裁 日本金融学会で講演	[中]Asian Toys&Games Show(~23日)
21(日)	競馬 菊花賞	[米]自動車F1米国GP決勝

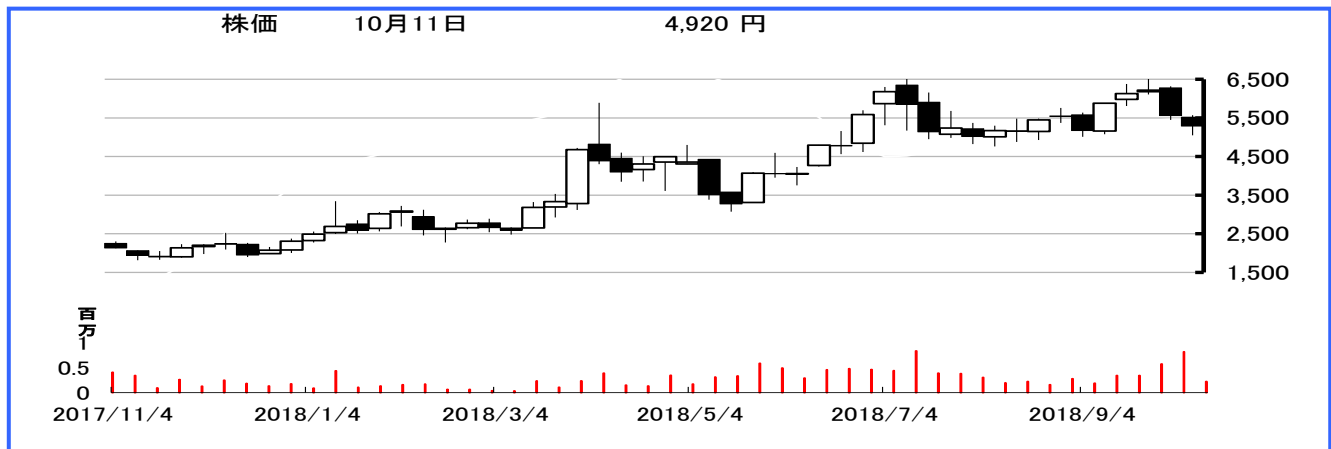
出所はロイター、ブルームバーグ、新聞各紙等より、時刻は日本時間(予定)

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

## 今週の参考銘柄

シルバーライフ (9262)

東証マザーズ



	17年7月期		18年7月期		19年7月期(予)		株価(10/11)	4,920 円
	(百万円)	前年比	(百万円)	前年比	(百万円)	前年比	業種	小売業
売上高	5,245	26.4%	6,547	24.8%	7,716	17.9%	売買単位	100 株
営業利益	475	28.5%	599	26.0%	687	14.7%	PER(予想)	55.9 倍
経常利益	539	24.1%	677	25.6%	739	9.1%	PBR(実績)	8.6 倍
当期純利益	377	25.4%	431	14.2%	463	7.4%	ROE(実績)	20.4 %
EPS(円)	94.2		87.3		88.1		配当利回り(予想)	— %
配当金(円)	0.0		0.0		0.0		担当	松本 直志

出所：業績に関する数値は決算短信、決算説明会資料より

高齢者向けにお弁当を届ける配食サービス「まごころ弁当」「配食のふれ愛」のフランチャイズ(FC)運営、高齢者施設向け食材提供、弁当のネット通販を行っている他社向けに冷凍弁当の提供(OEM)を行っている。18年7月期における売上高比率は、FCが73.0%、高齢者施設向け食材提供16.8%、OEMが10.2%になっている。自社工場を活用したローコスト製造、低価格で豊富なメニューの提供により、利益ある成長を続けている。

18年7月期決算は前年同期比24.8%増収、26.0%営業増益。運送費用の上昇や倉庫内作業など業務委託費の増加があったが、売上増で補い会社計画上振れ達成。在宅高齢者の増加に合わせて、FC加盟店が前年同期比63店増の626店に拡大したことで、FC売上は17.4%増収となり右肩上がりでの成長が継続。高齢者施設向け食材提供は、介護報酬削減や人手不足により施設内での調理を簡便化させる需要が高まり前年同期比48.9%増収。OEMは新物流センターの稼働により供給体制が強化され前年同期比53.3%増収。

今期は前年同期比17.9%増収、14.7%営業増益計画。食材の高騰や人員増強、運賃、業務委託費の増加があるが、高齢者人口の増加に伴い弁当などの食材需要の増加が続き増収増益計画。FC加盟店は前年同期比15.3%増収、高齢者施設向けは29.2%増収となり前年と同額程度の売上増加見込み。OEMは客先で成長の鈍化傾向があり前年同期比17.0%増収計画。高齢者人口の増加に伴い今後も売上は右肩上がりでの成長が見込まれることから、第2工場への投資規模を当初の14億円から25~28億円程度へ引き上げを検討している。

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

## 説明会より

銘柄 (コード) 市場 株価(10/11) 売買単位	コメント
<b>ウエルシア HD</b> (3141) 東証1部 5,940円 100株	2Q累計決算は、調剤報酬改定による影響に加えて、猛暑に伴い殺虫剤、防虫芳香剤が低迷。さらに新規連結子会社の改装コストやのれん償却負担が利益を圧迫したが、既存店売上高の増加でカバーし計画を上回る前年同期比13.7%増収、3.9%営業増益で着地。新規連結の丸大サクラキ薬局、一本堂の改装を加速させることに伴う売上及び利益の拡大、既存店売上高の成長継続により通期では12.2%増収、10.3%営業増益を計画。(多功 毅)
<b>ポール HD</b> (3657) 東証1部 2,582円 100株	上期決算は前年同期比10.8%増収、31.1%営業増益。海外デバッグ事業の稼働率上昇が進み、収益性が想定以上に改善し利益計画を超過達成。国内もモバイルゲーム向けデバッグ需要が増加したことや、人材獲得が進んだことにより収益性改善が進捗しデバッグ・検証事業は前年同期比5.7%増収、33.6%営業増益。ネットサポート事業も前年同期比40.1%増収、44.5%営業増益と好調。AI、シェアリングエコノミー、フィンテック市場向け新サービスを開始。(松本 直志)
<b>エニグモ</b> (3665) 東証1部 1,646円 100株	上期決算は前年同期比11.7%増収、36.8%営業増益、取扱高は17.8%増加。取扱高と営業利益は過去最高を更新。広告施策の成果で会員数は23.6%増、アクティブ会員数は11.8%増、購入単価は6%増。購入比率の高いアプリのDL数は前年同期比47%増加し、アプリ経由の取扱高構成比率は43%へ拡大。海外向けBUYMAは、SEOの精度が向上し登録会員数が右肩上がり増加しており、今期は単月黒字化目標。下期は利益の上振れ分を活用して1.5億円程度のマスキャンペーンを実施予定。(松本 直志)
<b>ベルシステム システム24HD</b> (6183) 東証1部 1,616円 100株	2Q累計決算は、コールセンター事業における新規案件の積み増しに加えて、価格改定効果も寄与する一方、旧BBコールの減速があったことで売上高は5.1%増収に留まる。一方、利益については増収及び価格改定効果、コスト抑制効果等が寄与することにより21.8%営業増益で着地。通期は従来計画を据え置き。下期については10.5%増収、0.5%営業増益計画だが、利益面に関しては保守的計画と思われる、上ブレ着地が期待される。(多功 毅)
<b>ベストワン ドットコム</b> (6577) 東証マザーズ 8,770円 100株	18年7月期決算は前年同期比32.7%増収、営業利益は2.5倍に拡大。クルーズ市場の拡大や効果的なWEBマーケティングの実施、提携船会社の拡大による取扱いクルーズ商品の増加などで売上が拡大。原価率の良いクルーズの販売が好調で、実績に基づくオーバーライドコミッションなどの原価割り戻しも増え大幅増益を達成。今期もクルーズ市場の順調な拡大を見込み前年同期比36.7%増収、27.8%営業増益計画。自社企画ツアーの拡充や連携船会社の拡大による商品数増加、WEB広告投資、提携先・販路拡大などに取り組む方針。(松本 直志)
<b>吉野家 HD</b> (9861) 東証1部 1,768円 100株	2Q累計決算は、主力の吉野家の既存店売上高が4.0%増と堅調に推移したものの、牛肉、米を中心とした食材コストの上昇、人件費を中心とした経費の増加による影響が大きく、前年同期比2.7%増収、97.4%営業減益で着地。通期については、出前館を活用しての宅配展開店の拡大、子供向け半額制導入による新規顧客開拓により吉野家業態の既存店売上高を1.5%増としたうえで、3.3%増収、72.6%営業減益を計画。(多功 毅)

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

## いつもあなたのそばで 頼れる金融機関です

やまわ

### ■ ■ ■ 山和証券店舗網 ■ ■ ■

本店営業部	(03) 3668-5412	〒103-0026	中央区日本橋兜町 1-8
金町支店	(03) 3600-6681	〒125-0041	葛飾区東金町 1-22-9
高円寺支店	(03) 3311-1171	〒166-0003	杉並区高円寺南 3-58-25
大岡山支店	(03) 5754-5523	〒145-0062	大田区北千束 3-28-1 パークホームズ大岡山ラヴィアンコート 1F
巣鴨支店	(03) 3918-6311	〒170-0002	豊島区巣鴨 3-33-2
上板橋支店	(03) 3935-0311	〒174-0071	板橋区常盤台 4-22-12
深川支店	(03) 5600-7891	〒135-0005	江東区高橋 11-1
茂原支店	(0475) 25-1151	〒297-0023	茂原市千代田町 1-6 茂原サンヴェルプラザ 1F



### ○金融商品取引法に基づく表示事項

◇商号：山和証券株式会社 金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第190号  
加入協会：日本証券業協会

◇ご投資にかかる手数料の概要およびリスクについて

- ・国内上場株式等を購入する場合は、約定代金に対して最大 1.1772%(ただし約定代金 230,000円以下の場合は最大 2,700円)の委託手数料をいただきます。
- ・国内上場株式等は、価格の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、発行会社の信用状況の悪化等により投資元本を割り込むおそれがあります。商品ごとに手数料等及びリスクは異なりますので当該商品の契約締結前交付書面をよくお読みください。

### ○山和証券免責事項

- ・本アナリストレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたものであり、特定の有価証券の売買あるいは特定の証券取引の勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断と責任でおねがいします。
- ・本アナリストレポートの全部もしくは一部を引用または複製、転送等により使用することを禁じます。

発行 山和証券調査室